

図書館だより



no.237

2022(令和4)年9月23日発行

編集・発行 福島県立図書館

〒960-8003 福島市森合字西養山1番地

TEL 024-535-3218

Fax 024-536-4787

<https://www.library.fcs.ed.jp/>



展示のご案内

〈企画展示〉

「福島イノベーション・コースト構想」展

期間:10月5日(水)まで

場所:企画展示コーナー

福島県歴史資料館移動展示

「ドラマになった福島ゆかりの人々

五代友厚・渋沢栄一・古関裕而」

期間:10月7日(金)~11月3日(木)

場所:企画展示コーナー

〈ロビー展示〉

「YAの本」

期間:10月5日(水)まで

場所:ロビー展示コーナー



〈ミニ展示〉

【10月5日(水)まで】

「お手紙の絵本(おてがみのえほん)」

場所:こどものへや 絵本コーナー



「おさんぽ」

場所:子育て支援コーナー

【11月3日(木)まで】

「使ってみませんか? 福島県立図書館の

データベースコーナーでできること」

場所:エントランスホール 平台展示コーナー

「働く」を考える」

場所:館内中央 雑誌展示コーナー



「秋を愛でる」

場所:軽読書コーナー



イベントのご案内

福島を生きる講座 第4回

「史料で読むドラマの主人公たち

— 五代友厚・渋沢栄一・古関裕而 —」

講師:渡邊 智裕 氏

(福島県歴史資料館 歴史資料課課長)

内容:ドラマにもなった福島ゆかりの人々、五代友厚・渋沢栄一・古関裕而の3人について、関連史料発見時のエピソードなどを交え解説します。

日時:10月22日(土)14:00~15:30

場所:福島県立図書館 講堂

定員:先着 100名

〈申込方法〉

以下のいずれかの方法でお申込みください。

- ・福島県立図書館へ電話(024-535-3220)
- ・直接来館(総合案内カウンター)
- ・福島県立図書館Webサイトのフォームで登録

ネットサービスのご紹介

当館 HP の「My ライブラリ」では、資料の予約、貸出期間の延長などの他に「本棚作成」機能があります。

○「本棚作成」とは?

自分だけの資料リストを作成、保存ができる機能です。これから読みたい本をまとめたり、読書記録の代わりにしたり、自由に使うことができます。

※My ライブラリのご利用には、当館の利用登録及び、パスワードの取得等が必要です。詳細は、当館 HP の利用案内「My ライブラリについて」をご覧ください。



新着案内

各分野の担当者が選んだ、お薦めの新着資料をご紹介します。

人文・自然・社会

『若者言葉の研究 SNS時代の言語変化』堀尾 佳以／著 九州大学出版会 2022.5 814.9/杓225

本書は、1990年代後半から2000年代にかけて著者が収集した若者言葉を言語学的に分析し、また、2010年代の若者言葉との語彙・意味・文法・用法の変化を考察した本です。

言葉遊びや同世代間でのみ伝わる隠語として使われる若者言葉は、一見すると無秩序で、日本語の「乱れ」とされることもあります。しかし、本書を読むとそこにはある一定のルールが存在することがわかり、非常に興味深いです。今もなお、変化し続ける若者言葉への関心が高まります。

『日本怪異妖怪事典 東北』朝里 樹／監修、寺西 政洋／著、佐々木 剛一／著、佐藤 卓／著、戦狐／著 笠間書院 2022.5 388.1/カ216/2

古代から近現代まで語られた全国の怪異・妖怪を地方別に紹介する「日本怪異妖怪事典」シリーズのうち、東北地方を扱った1冊です。福島県からは、安達ヶ原の鬼婆、猫魔ヶ嶽の化猫などが紹介されています。

県別に収録されているほか、五十音順、部類別、属性別と索引も充実しています。また、項目ごとに出典が明らかにされているため、24ページに渡る参考資料一覧あり、気になるものがあれば出典にあたることもできます。シリーズ既刊（北海道、関東、近畿）もあわせて手にとってみてはいかがでしょうか。

『こうして絶滅種復活は現実になる 古代DNA研究とジュラシック・パーク効果』エリザベス・D. ジョーンズ／著 原書房 2022.6 457/江226

発掘されたDNAから恐竜を復活させることはできるのか…。古代DNA研究は映画の大ヒットによって注目を浴びることになりました。大衆からの強い関心は学問の発展を後押しする反面、研究本来の姿を歪めてしまうという懸念を生じさせるなど、科学の真実と過熱するマスメディアが抱えるジレンマが明かされます。

児童・児童図書研究

『とどのつまり人は食う』佐野洋子／著 河出書房新社 2022.1 J914.6/サ

みなさんの思い出に残っている食べ物はなんですか？

本書は、著者の幼少期から晩年までを食べ物中心に書いたエッセイ集です。肉まんじゅうや水餃子などすべての話に食べ物が登場し、家族に関する価値観や、恋愛模様などがそれらを通して描かれています。切ない時、悲しい時、それでも何かを食べる著者の姿からは、生きていくことと食べることの強い結びつきを感じることができます。

食の豊かな現代だからこそ読みたい一冊です。

雑誌・新聞

新型コロナウイルスの流行から2年半が経過しました。最新の「ウィズコロナ」、「アフターコロナ」関連記事をもつ雑誌を様々な分野からご紹介します。

『図書館界』第74巻第3号、通巻426号、2022.9, Z/010.5/T5

「特集：コロナ禍の中の図書館を考える」

『月刊ゆたかなくらし』通巻482号、2022.9月号, Z/369.26/Y11

「特集：コロナ禍に抗して高齢者を守り、介護施設を守り、高齢期運動を守る」

『日本民俗学』310号、2022年5月, Z/381.1/N5

「新型コロナウイルス禍と民俗行事 東北三県での調査 第2部 新型コロナウイルス禍における民俗学」

『環境浄化技術』2022年5・6月号、第21巻第3号、通巻167号, Z/519/K39

「特集：下水における新型コロナウイルス調査の取り組み2」

地域

『ふくしまスマイル図鑑』山下 俊之／写真・文、山下 由美／写真・文、遠藤 雄一／写真・文 歴史春秋出版 2022.4 L479.6/Y2/1

「スマイル」と聞いて、皆さんはどのような色、形の花をイメージしますか？ 本書は、著者が福島県内で撮りためたスマイルの写真をまとめたもので、収録種は変種と品種を含めて60種にもなります。写真とともに、それぞれの種の国内分布や生育環境、特徴、福島県内の分布図がわかりやすく記されています。一口にスマイルといっても、色や形に様々な違いがあること、また県内に咲くスマイルの種類豊富さに驚かされました。自分が住む地域にはどのようなスマイルが咲いているのかな、と読むのも楽しいかもしれません。

『会津藩家老・山川家の近代 大山捨松とその姉妹たち』遠藤 由紀子／著 雄山閣 2022.5 L288.3/E2/1

幕末の会津藩家老であった山川家の、七人の兄弟姉妹——山川浩、健次郎の二男と、二葉、ミワ、操、常盤、捨松の五女。本書は、山川家の一族、特に五人の姉妹たちと、山川家に嫁いだ女性たちについて、幕末から明治期以降の足跡を調査しています。史料の分析や山川家の子孫の方々への聞き取りにより、それぞれの人物像を丹念に追っています。近代を颯爽と生きた、山川家の女性たちの姿に迫ります。